

shinchi town news

広報

しんち 1

2011.No.475

2011年
さらなる高みをめざして

— 新時代のエネルギー開発 —

◎新年のあいさつ

◎暮らしを守る火力発電

【相馬共同火力発電(株)新地発電所】

2011

年頭あいさつ



人と自然が共に輝き

笑顔あふれるまちづくり

新地町長 加藤 憲 郎

新年おめでとうございます。希望と新たな決意に満ちた輝かしい新年をお迎えることと、心よりお慶びを申し上げます。

さて、現在の新地町を取り巻く情勢は、経済・雇用情勢も含め厳しい状況が続いております。しかしながら、こうした時期こそ、行政は町民の皆様と協働のもと、町政経営に取り組んでいくことが大切であると考えております。

そのため平成23年度を初年度とし平成32年度を目標とする第5次総合計画が町民の皆様のご協力をいただきながらこのほどまとまり、いよいよスタートします。

第5次総合計画は、町民一人ひとりの思いがくみあげられるような計画で、まちづくりの基本理念や町の将来像を定めた町民と行政の共通の指針です。自然を大切にしながら自らの暮らしの向上を図り、環境と調和した生活の実現をめざし、基本理念として「人と自然が共に輝き、笑顔あふれるまちづくり」を掲げました。

本年は、常磐自動車道整備を見据えながら、「若者が定着できるまちづくり」「地域産業の振興と活力あるまちづくり」を進めるため、新地IC周辺における工業団地の整備や新地駅前周辺整備、これらに連動する県道整備、さらには作田前広場整備など町の持続的な発展に必要な基盤整備を計画的に進めてまいります。

さらに、「子どもを育てやすいまちづくり」「みんなが支える福祉のまちづくり」を進めるため、地域活動への支援や、子育て支援、活力ある農業の確立など、特色のある町政を推進し、他の地域に負けない、魅力と活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

本年も皆様にとって身近な自治体として、役割を果たしていきたいと思っております。その一方で、地方分権、地域主権が進めば、地方の自由裁量が高まり、地方が任せられる仕事も責任も拡大していきまします。そうした時代の変化にスピード感を持って的確に対応していくべく、主体性と積極性をもって、従前から続くものであっても改めるべきは思い切った変えていくことが、今日の新地町に期待されていることであると改めて自覚しております。

「誰もが新地町に住んでよかった」「しんちがいはん」と感ずることができるまちづくりを目指し、身の回りの人や地域のことをもっと大切に考え、暮らしやすい安心安全な地域にしていくために、皆様と一緒に行動していきたいと思っております。

結びに、新地町の未来への躍進と、本年が町民の皆様方にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます



町民・町・議会が

一体となるまちづくり

新地町議会議長 齋藤 賢一

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には希望に満ちた輝かしい新春を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

旧年中は私ども議会をはじめ、議員活動にご指導とご鞭撻を賜りましたことに對しまして衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さて昨年は、一文字で表現する漢字が「暑」でありました。連日暑い日が続き農作物をはじめ我々国民の生活にも大きな影響が出たのではないかと思っております。地球温暖化が叫ばれて久しく、世界の有識者は警鐘を鳴らしておりますが、各国の足踏みが揃わず、特に先進国、そして大国の理解が深まらず、近々の重要な課題と思っております。早い解決と具体的な実施に移されることを期待したいと思います。

また、国内では政権交代後、総理大臣が二人目となりました。大きな期待を寄せた訳ですが、お金と政治の問題、尖閣諸島、北方四島の領土の問題、北朝鮮砲撃の問題、日本経済のデフレ化、更には新卒者の雇用不安が広がっております。的を得た因策と適切な景気対策に取り組んでいただき、我々国民の不安を解消されることを願っております。

一方、議会として、町の進めております駅前整

備、作田前ほ場整備、企業誘致促進のための新地イシタリ（仮称）周辺の整備、高速・国・県道を含む道路網の整備、更には自立できるまちづくり、災害に強い、そして安心・安全のまちづくり、次の世代を担う子ども達の教育環境の整備等を町民の皆様・町・議会が一体となり全力で進めてまいりたいと思っております。

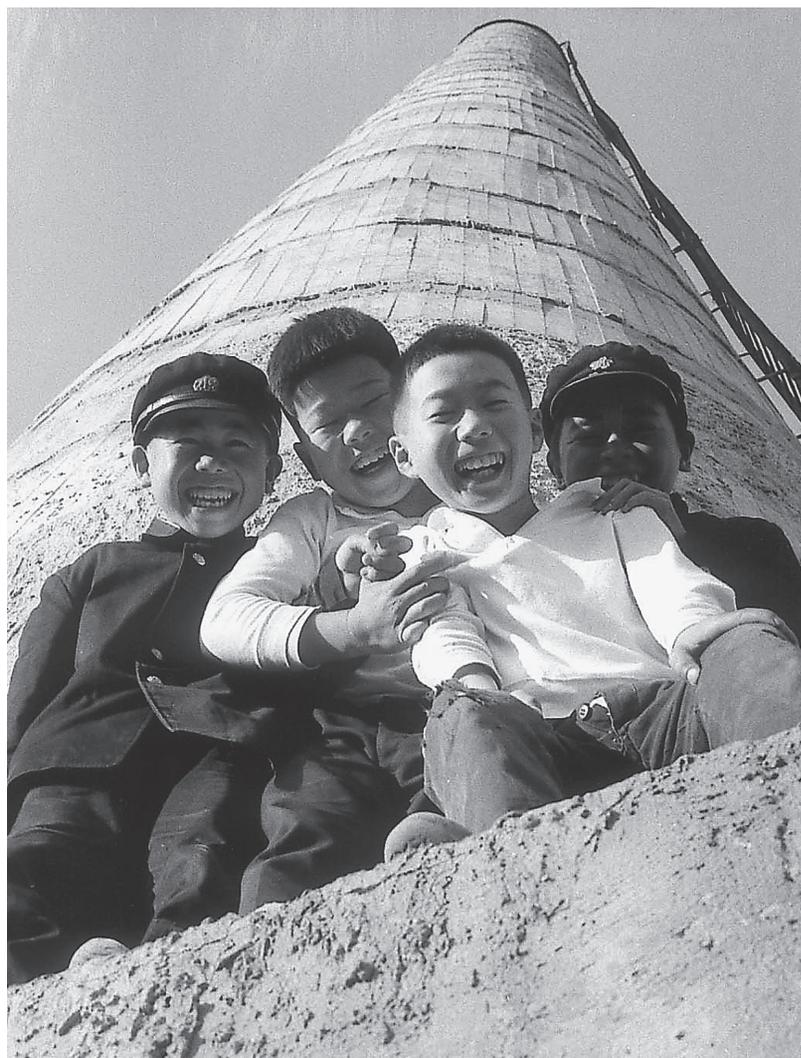
また、議会改革につきましては、現在の社会情勢を踏まえ、これまでの議会活動に満足することなく、通年議会、議会基本条例、議員活動のあり方、定数・報酬を含めた改革に取り組んでまいりましたが、さらに現状認識を深め、新たな議会活動ができるようしっかりと取り組みを継続してまいりたいと思っております。今後とも町民皆様方のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、寒さ厳しき折、体調を崩されないようご自愛をされますことと、町民皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念を申し上げます。

特集

エネルギーあふれる町へ

―人と自然が共に輝くために 火力発電の進化―



40年前、塩業跡地（現在の火力発電所用地）で遊ぶ地域の子どもたち。写真左から菅野敏弘さん、佐藤欽一さん、佐藤光彦さんら。

産業の柱として、町の発展を支えてきた火力発電。今年、相馬共同火力発電(株)が設立されてから30年目の節目を迎えます。

平成24年からは、国内最大級のCO₂削減の取り組みとして、バイオマス燃料の導入など、新たな環境対策が始まります。

火力発電の進化と地域の変化をふり返り、町の未来を考えていきましょう。



昭和から平成 その先の未来へ 暮らしを守るための変化と進化

足跡

昭和45年7月

福島県企画調整課内に

相馬地域総合開発

プロジェクトチーム設置

昭和46年3月

相馬地域総合開発計画策定

昭和46年8月

新地村町制施行

昭和52年3月

新地町議会相馬地域開発

特別委員会設置

昭和52年6月

新地町議会全員協議会で

火発誘致決定

昭和53年3月

新地町議会火力発電所

誘致促進特別委員会設置

昭和56年6月

相馬共同火力発電^(株)設立

平成2年8月

相馬共同火力発電^(株)

新地発電所1号機着工

平成3年8月

相馬共同火力発電^(株)

新地発電所2号機着工

平成6年7月

新地発電所1号機営業運転開始

平成7年7月

新地発電所2号機営業運転開始

平成24年 木質バイオマス燃料 導入へ

昭和46年
生活を守るための開発時代

相馬地域総合開発

昭和46年3月、相馬地域の工業開発を目的とした『相馬地域総合開発計画』が策定されました。この計画は、相馬地域住民の生活水準の向上と雇用の場を確保するために、工業を軸とした地域開発を行うもので、新地町と相馬市にわたるおよそ577haの区域において工業団地を造成するというものでした。

この頃の町の産業構造は、町民の多くが農業や漁業といった第1次産業に就いており、他の市町村に比べ、第2次、3次産業への就業が遅れていました。

このことに危機感を抱いた

福島県や町などが中心となり、相馬地域開発に踏み出しました。

平成6年

産業のあかりが灯る

火力発電が運転開始

相馬地域総合開発の柱は、『相馬中核工業団地』の開発とその中心となる火力発電所の造成をはじめ、重要港湾『相馬港』の整備、工業団地などへ工業用水を供給する『真野ダム』の建設、『国道113号バイパス』の整備などで、地域経済の発展と生活環境、産業基盤の整備を総合的に行う、総額1兆円にもおよぶ大規模なプロジェクトでした。

昭和53年3月には、新地町議会に「火力発電所誘致促進

特別委員会」が設置され、その動きが活発になり、昭和56年6月1日に東北電力株式会社と東京電力株式会社により「相馬共同火力発電株式会社」が設立されました。

平成6年7月には相馬共同火力発電株式会社新地発電所1号機が営業運転を開始しました。さらに2号機が平成7年に運転を開始し、1号機、2号機ともに100万kwの出力で運転をし、日本有数の石炭火力発電として、各地に電力を供給しています。

平成23年

未来を守るための環境時代

バイオマス燃料 導入へむけて

近年では、京都議定書の制

定など、二酸化炭素(CO₂)の排出抑制が、世界各国で強化されるようになり、石炭の燃焼でCO₂を排出する火力発電も対策が求められるようになりました。

こうしたなか、相馬共同火力発電^(株)新地発電所では、平成24年度下期から木質バイオマス燃料を導入した二酸化炭素排出削減の取り組みを始めることとしました。

木質バイオマス燃料とは、樹木を伐採した後に出る残材を加工した固形燃料で、この燃焼によるCO₂排出量は、ゼロ(カーボンニュートラル)と計算されます。

これまで産業の柱となり、町の発展に大きな影響を与えてきた火力発電が、未来を守るための新たな取り組みを開始します。



ちから 火の力 × ちから 人の力

かとう のりお
加藤 憲郎
新地町長

いがらし きりょう
五十嵐 喜良
相馬共同火力発電(株)
代表取締役社長

かの きみお
狩野 公男
相馬共同火力発電(株)
常務取締役新地発電所長

歴史的一歩から 歩み続ける町

加藤 憲郎 町長

「相馬地域総合開発が動き始めた40年前。私は、大学を卒業し、民間企業に就職して、がむしゃらに働いていたことを思い出します。

高度経済成長により、近代化が進展する日本において、新地町も、福島県と議会、町民のみなさんの協力のもと、



相馬地域総合開発に踏みだしたことは、歴史的な一歩だったことに違いありません。

あれから40年が過ぎ、社会情勢も自然環境も大きく変化しました。工業開発に

より、時代に即した雇用が生まれ、町民の生活は豊かになり、町も発展することができました。

しかしながら、産業の発展には必ずリスクが生じます。環境負荷です。特に火力発電

においては、二酸化炭素の発生が問題視されますが、新地発電所では、設立当初から先進的な環境対策に積極的に取り組んできました。

現在では、国の施策の多くも、エコカー補助金・

減税、エコポイントなど、新たな環境対策と

っており、日本はもとより、世界的な環境保



護時代になったことを告げています。

そうしたなかで、新地発電所では、国内最大級の二酸化炭素削減量を実現するため、平成24年度下期から木質バイオマス燃料を導入することが決まり、先日、テレビや新聞などで大きく報道されました。町民のみなさんも、その重要性を強く感じたことと思います。

産業の進展と環境保護というテーマをクリアし、町と企業、町民のみなさんが一体となった「人と自然が共に輝き、笑顔あふれるまちづくり」が今まさに必要だと感じています。」



地域と未来のために

五十嵐 喜良

相馬共同火力発電株式会社
代表取締役社長

当社は、出力100万Kwの石炭火力発電所を2基建設し、電源の脱石油化と電気事業広域運営の一翼を担うとともに、相馬地域の総合開発に寄与するため、昭和56年6月1日、東北・東京両電力の共同出資により設立されました。

以来、建設の諸準備を進め、新地発電所1号機を平成2年8月、2号機を平成3年8月に着工し、1号機が平成6年7月、2号機が平成7年7月にそれぞれ営業運転を開始いたしました。そして、1号機運転開始後17年を経た現

在も、日夜安定して発電を継続し、東北・東京両電力をとおして皆さまに電気をお届けしています。が、これもひとえに地域の方々の暖かいご支援の賜ものであり、この場をお借りして深く御礼申し上げる次第です。

電気事業においては、電力需要の伸び悩み、燃料価格の高騰、環境規制の強化等、経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。このような中、当社は、本年6月には、会社設立満30周年を迎えますが、引き続き、安定した電気をより安くお客さまにお届けするために、経営の効率化を勧め企業価値の向上を図ってまいります。

また、地域の美しい自然をそこなうことなく後世に引き継ぐためにも、周辺環境の保全や設備信頼度向上に全力を尽くし、地域の皆さまから信頼され、安心される企業を目指してまいりますので、今後とも、皆さまのご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

新時代を開拓する 環境エネルギー

狩野 公男

相馬共同火力発電株式会社
常務取締役新地発電所長

新地発電所は、平成6年に1号機が営業運転を開始し、本年7月で17年を迎えます。揚炭機の火災など、地域の皆さまには色々ご迷惑、ご心配をおかけしたこともありましたが、おかげさまで、安心して、1・2号機共、現在まで、「高稼働・高効率」運転を継続することができました。

その結果、昨年2月には、1・2号機合計の累積発電電力量2,000億kWh（福島県内全域で使用する電力量の約13年分）を達成し、更に、10月には、石炭運搬船の受入隻数も、平成5年の第1



船入港から数えて、1,000隻を達成いたしました。

このような大記録を達成できたことは発電所にとって大きな喜びであり、これもひとえに、地域の皆さまや関係各位のご理解・ご支援の賜ものと、社員および構内で働く者一同、深く感謝申しあげます。

今後、新地発電所では、環境負荷の低いエネルギーの利用により、低炭素社会の実現へ寄与するため、「木質バイオマス燃料（ペレット燃料）の燃焼」に取り組むことといたしました。平成24年度下期からの運用開始に向け、本年より設備工事を開始することとしております。

新地発電所は、これからも電力の安定供給という使命を果たすため、地球環境や「安

全・安心」に最大限配慮しながら、地域との関係を大切に、安定運転・安定供給を目指してまいりますので、関係各位のより一層のご理解・ご協力の程をお願い申し上げます。

地域



あの頃の記憶

- 火力発電ができる前の暮らし -

おんちしん 温故知新

温故知新。故きを温ねて新しきを知る。論語に集録されている故事成語。過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解をひらくということ。

火力発電所と町の歴史をたどるうえで、欠かせないものは、その地域で暮らす方々の声です。今回は、発電所が立地している藤崎、今神、今泉地区で、昔の様子や環境の変化などについてお話を伺いました。

現在の発電所がある今神地



内に住んでいた鈴木良夫さんは、当時の生活をふり返り、「今神は、何でもとれる畑作地で、特にキュウリを多く作っていました。とれた野菜は農協に出したり、行商で売りに行ったりもしていました。土地柄から相馬市原釜との交流が多く、野菜を売りに行ったりは、原釜でとれた魚をもらったたりしていました」「干拓地だったので稲作には適さない土地でしたが、地域の人の努力で、徐々にですが米がとれるようになるまでになつていました」と話していました。

菅野 耕平さん(藤崎)

現在の発電所がある地域には、のどかな環境が広がっていました。塩田の中のヨシやススキには、多くの野鳥が集まり、近くを流れる水路にはフナやタナゴが泳いでいました。



地域のひと

生まれ育ったこの町で これからも ずっと。



写真左から菅野敏弘さん、佐藤欽一さん、佐藤光彦さん。4ページに掲載した写真の子どもたちは、40年が経ち大人になりました。

同じく、発電所の立地で転宅した男性は、「あの地域に住んでいた人で、私より年上の人はもうほとんどいません。発電所がなければ、町の発展もなかったと思います。転宅したことが、町の発展につながり良かったです」と話していました。

4ページに掲載した塩業跡地で遊ぶ子どもたちの写真は、昭和40年頃に西方市郎さん（駒ヶ嶺町）が撮影したものです。

現在も今泉で暮らしているみなさんを訪ねました。

今泉の佐藤欽一さん（55）、佐藤光彦さん（55）、菅野敏弘さん（58）の3人は、あの頃の面影を残す50歳代。「写真撮

影当時は小学生で、学校から帰ってきては、塩業跡地でよく遊んでいました。大きな煙突は好奇心をかき立てました」と、写真を見ながら当時の様子をふり返ります。

「昔の地蔵川は、冬になると厚い氷が張り、スケートをしたりしました」「魚釣りもよくしていました」と、子どもたちの楽しい遊びも思い出したようです。

「今でもよくお互いの家にお茶を飲みに行き来しており、地域の人のつながりは変わっていません」と、昔の思い出を3人で話していただきました。



佐藤 豊さん（今泉）

発電所の立地により、さまざまな整備が行われました。水害に悩まされていた地蔵川も改修され、今では心配もなくなりました。道路も整備されたことで、地区住民の生活も良くなりました。



佐藤巳代治さん（今泉）

開発が始まった当時、町外から毎日のように多くの開発関係者がやってきたことを覚えています。

昔のことを知る人が少なくなっており、話を伝えていくことも大切だと思います。

地域のエネルギーをつくる

相馬共同火力発電(株) 設立30周年

産業の発展と 増え続ける電力需要

昭和48年のオイルショック、わが国のエネルギー情勢は非常に不安定になり、それでも電力需要は増え続けていました。

おりしも、福島県と新地

町、相馬市は一体となって、この相馬地域の総合開発を進めており、このような時代の要請にあつて相馬共同火力発電(株)は誕生しました。

100万キロワット2基の石炭火力発電所を建設し、電

源の脱石油化と電力の広域運

営をはかること、そして相馬地域の発展に貢献することを目的とし、昭和56年6月1日、相馬共同火力は、東北電力(株)・東京電力(株)の共同出資により設立されました。

県内の需要をカバー

以来、地域振興整備公団による「相馬中核工業団地」の造成工事、国・福島県による相馬港の整備工事、相馬共同火力による発電所建設のための諸準備・大規模な建設工事を経て、新地発電所1号機は平成6年7月、2号機は平成7年7月に営業運転を開始し、現在も24時間、東北電力(株)・東京電力(株)を通して、町内・県内はもとより首都圏にも電気が供給されています。ちなみに、合計出力200

万キロワットというのは、福島県内の電力需要をほぼまかなえるほどの規模です。

相馬共同火力では、経営理念として「より安定した電気をより安く提供することにより、お客さまの満足を得、地域とともに発展する」を、経営指針として「安全の確立と安心の約束」、「安定供給とトップレベルのコスト競争力」、「社員の活力向上」を掲げ、全社一体となって企業価値の向上に取り組んでいます。





人が輝くために

相馬共同火力では、地域とのコミュニケーション活動や、地域の子供たちのための活動にも積極的に取り組んでいます。

交流施設 わくわくランド



発電所構内にある「わくわくランド」は、エネルギー

と町をむすぶふれあい施設として平成7年10月にオープンし、子供から大人まで連日大勢の方々でにぎわっています。施設内には、ゆつたりくつろげる芝生広場やハイテク噴水、そして様々な屋外遊具があり、PR館「グリーンウイング」には、遊びながら発電の仕組みを体験できる展示室や映像装置を備えた多目的ホールがあります。また、定期的にイベントを開催するなど地域の文化活動を支援する情報発信基地ともなっています。

なお、平成19年12月には、オープン以来の入場者数が100万人に達しました。

環境教育

地域の子どもたちのエネルギーや科学に関する情操教育も定期的に行っています。

福田小学校・新地小学校・駒ヶ嶺小学校では、毎年5年生が、わくわくランドで「エネルギー環境講座」を受講し、発電の仕組み、エネルギーの大切さ、地球環境保全や省エネの必要性について、実験や見学を通じて楽しく学んでいます。

また、毎年3月には、小学生を対象とした「サイエンスツアー」を開催し、新地発電

所のみならず、他の発電所を見学し、発電には様々な方法があることなどを学んでいます。

さらに、尚英中学校の生徒は、毎年発電所で職場体験を行っています。

そのほか、発電所周辺のクリーン活動や海浜清掃、花の苗植栽などの地域の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

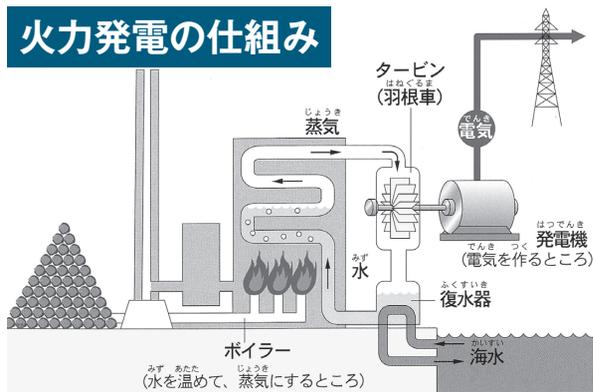


木質バイオマス燃料を導入

新地発電所

火力発電

新地発電所は、駒ヶ嶺今神地内の、約182ヘクタールの広大な敷地にあり、高さ90メートルのボイラー建屋、高さ200メートルの煙突、貯炭場など、巨大な設備がたくさんあります。



火力発電の仕組み

は、相馬港5号埠頭でアンロ

タービンという機械で陸揚げされ、ベルトコンベアで貯炭場まで運ばれます。貯炭場では、石炭の銘柄別に山積みされ、再びベルトコンベアでボイラー手前の微粉炭機に送られ、ここで石炭はメリケン粉状に細かく粉碎されボイラー内に送られ燃焼します。ボイラー内には蒸気配管が通っており、石炭の燃焼により高温高圧になった蒸気がタービンを高速で回転させ、タービンと直結した発電機により電気を発生させています。

万全の環境対策で地域を守る

大気汚染防止

燃料の石炭、燃焼用の空気には窒素が含まれているので、燃焼の過程で窒素酸化物が発生します。この窒素酸化物は、「排煙脱硝装置」によ

人の力×火の力

自然が輝くために



東北発電工業(株)
吉田 行宏さん
(藤崎)

機器の分解・点検・整備を行っています。写真は給水ポンプ点検の様子です。



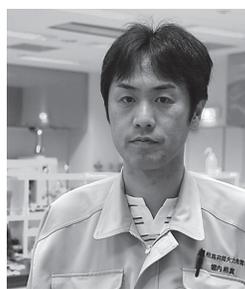
新地発電産業(株)
菅野 泰幸さん
(今泉)

石炭は空気とふれると温度が上がるため、貯炭場の温度監視やデータ収集をし、管理しています。



相馬共同火力発電(株)
新地発電所
星 博文さん
(藤崎)

発電グループでは、機器の監視や制御を行い、安全な発電につとめています。

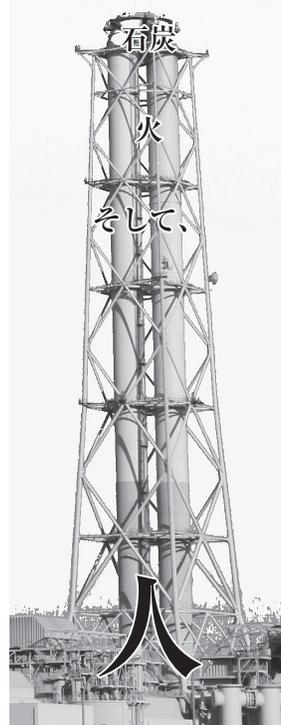


相馬共同火力発電(株)
新地発電所
堀内 裕真さん
(岡)

技術グループでは、石炭の分析や燃焼ガス測定等の環境管理業務を行っています。



電気を生み出す力



り、無害な窒素と水蒸気に分解し大気中に放出されています。また、燃焼ガスに含まれるばいじんは、「電気式集じん装置」により捕集し、セメントの原料などに有効活用されています。さらに硫黄酸化物も「湿式排煙脱硫装置」によって除去され、副産物の石こうは建築用資材として有効活用されています。

水質汚濁防止

発電所構内の排水は、総合排水処理装置で浄化処理し、極力再利用しています。また発電に使用した蒸気を冷やすために使った海水は、多少温度が上がりますが、海へ放出されると周辺の海水とまざり、すぐに自然の温度に戻ります。

景観・騒音対策

美しい自然と調和するため、敷地面積の25パーセント以上を緑化しています。また発電所の色彩も周辺の自然に合わせたものとしています。

また、機器類はできるだけ屋内に収納するとともに、建物には防音壁を採用するなど、周辺への騒音対策にも万

全を期しています。

地球温暖化防止対策

木質バイオマス燃料

地球温暖化防止のため、世界的に二酸化炭素削減に向けた取組みが行われていますが、新地発電所においても、「木質バイオマス燃料」の導入を行うこととしました。

木質バイオマス燃料は、主に海外の未利用の木質原料をペレット状に加工したもので、ボイラーで石炭と一緒に燃焼します。

混焼率は約3パーセント、年間使用料は約14万トンとしており、これによる二酸化炭素の削減量は約23万トン（会津若松市の発生量と等しい）となる計画です。

今後、受入設備等の建設を行い平成24年10月以降に導入する予定です。



木質バイオマス燃料（ペレット）

ENERGY

[この町にたぎる力]

火力発電を支える人の力 — 火力発電所構内企業のみなさん —



東北ポートサービス(株)
櫻井 伸彦さん
(新町)

大型機械の運転や設備巡視等、燃料荷役業務に携わり、電力の安定供給を支えています。



相馬港湾運送(株)
坂元 崇浩さん
(釣師)

石炭船内で重機を誘導し、揚炭作業等を行っています。



相馬環境サービス(株)
佐久間 正信さん
(今神)

石炭灰の運搬を行っています。灰はセメントなどの材料としても再利用されています。



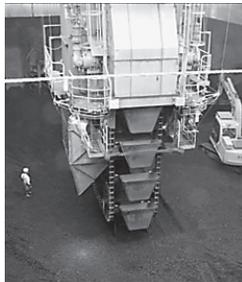
エスピーエス(株)
伊藤 洋子さん
(菅谷)

発電所から5号ふ頭内まで構内全域の清掃を毎日行っています。



(有)新地緑栄
鈴木 良夫さん
(今神)

発電所内の除草など、定期的な緑化維持管理を行っています。



人の力×火の力



やがて干拓成熟するや 黄金の波が三百町

発電所の近くで商店を営む佐藤己代治さんにお話しを伺った際、「やがて干拓成熟するや黄金の波が三百町」という詩があったと教えていただきました。

かつて人々は、海だったその地を、生活するための土地へと干拓しました。そして、秋には黄金の稲穂を実らせようと、稲作に励みました。

潮風や土壌の影響を受けながらも、米を収穫できる土地へと変化させました。

人々の計り知れないエネルギーにより生まれた地。そこはやがて工業団地へと進化。

そこに、新地発電所は建設されました。

海が干拓地に、そして工業団地と変化、現在の町の発展を支える礎の地となっています。

産業の発展と共に、豊になった私たちの生活。

笑顔あふれる人がいて、緑あふれる自然があり、エネルギーあふれる産業がある生活を守り続けていくため、それぞれの行動が始まっています。

人と自然が共に輝く町をめざして。

アナウンサーによる朗読ステージ プチ・アムルーズ

福島テレビアナウンサーによる朗読ステージ『プチ・アムルーズ』が11月28日、農村環境改善センターで開かれました。

町内外から150人が来場し、アナウンサーの藺草英己さんや原田幸子さん、多田紗耶子さんの朗読を楽しみました。

そのほか、早口言葉タイムトライアルゲームなどもあり、楽しみながら朗読に親しみました。



上：朗読を披露した
福島テレビアナ
ウンサーのみな
さん
右：早口言葉にチャ
レンジする子ど
もたち



上：会場が一体と
なって盛り上
がったカラー
ボトルコンサ
ート
左：日頃の練習の
成果を披露し
たウイングポ
ップス楽団

熱いステージを披露

多くの若者を新地町に招き、楽しんでもらおうと、「しんち未来塾」が共催した『カラーボトルコンサート』が12月18日、総合体育館で開かれ、町内外から約500人が来場しました。

カラーボトルは、仙台市で結成された4人組バンドで、平成19年にメジャーデビュー。ドラムの大川“Z”純司さんは隣町の山元町出身です。

また、賛助出演として、町内のジャズバンドウイングポップス楽団と、山元町のニューポップスが演奏を披露し、会場をわかせました。

終了後には、若者ふれあい交流会が開かれ、独身男女が軽食やコーヒーで懇親しました。

新地町戦没者追悼式

新地町戦没者追悼式が11月24日、農村環境改善センターで行われ、遺族など約150名が出席しました。

式では、加藤町長が式辞を述べ、齋藤町議会議長と林成徳町遺族会連合会会長、加藤貞夫県議会議員が追悼のことばをささげました。

最後に出席者全員で献花し、戦争で亡くなられた363名のご冥福を祈り、世界平和を誓いました。





がんばれ尚英ガッツ

町では、うつくしまふくしま第33回福島県小学生バレーボール選手権大会兼第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会福島県大会に出場する尚英ガッツジュニアバレーボールクラブに激励金を贈りました。

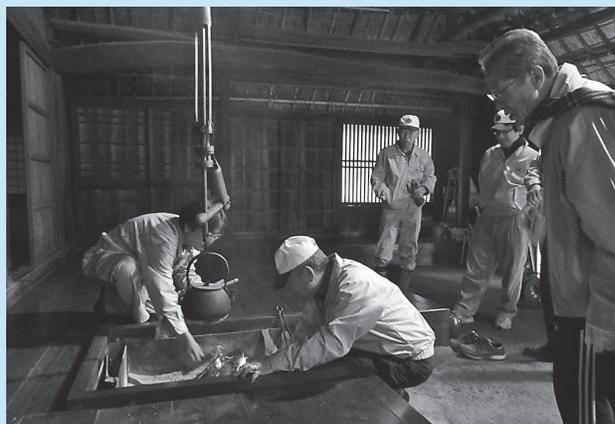
交付式では、加藤憲郎町長が選手の代表に激励金を手渡し、「これまでがんばってきた成果を大会で発揮してきてください」と応援の言葉を贈りました。



がんばれ相馬高校バレーボール部

町では、第63回全日本バレーボール高校選手権大会に出場する相馬高校バレーボール部で、町内在住の佐々木章仁くん、加藤大毅くん、森湧太郎くんの3名に激励金を贈りました。

大会は、1月5日から9日にかけて、東京体育館で開催されます。



観海堂で燻蒸作業

新地ライオンズクラブのみなさんが12月4日、観海堂で燻蒸作業ボランティアを行いました。

燻蒸作業とは、害虫駆除や防かびなどを目的に、火をたいて建物全体をいぶす作業のことです。

かやぶき屋根で、古い木造の観海堂では、教育委員会が定期的にこの作業を行っており、今回は、教育委員会の指導のもと、ライオンズクラブのみなさんが作業を行いました。



介護技術を学ぶ参加者のみなさん



認知症に対する正しい理解を促す劇

家族介護の負担を減らそう

新地町デイサービスセンターと在宅介護支援センターが主催した家族介護者教室が11月28日に開かれました。

センター職員が、介護者の負担を少なくする介護技術を指導したり、認知症に対する正しい理解を促すために、劇を行ったりしました。

保育所の こどもたち

保育発表会

みんなの前で緊張したけど、
上手に発表できました。



昔ながらのあそびには
メリットがいっぱい！
お正月のあそびといえ
ば、カルタ、すごろく、
コマまわし、凧あげ
などがあります。保
育所では子どもたち
がコマや凧を作って
あそんだり、友だち
と一緒にカルタを囲
んで

札とりをしたりと、お正月な
らではの昔あそびを楽
しんでいます。
コマまわしを何度も
練習したり、凧あげ
は、よく飛ばすよ

世代をこえてあそ
べる
何よりもこうし
たお正月あそび
は、友だちや家
族とかかわ

178

保育所から
こんにちは

駒ヶ嶺保育所



▲カルタ取りに夢中

やってみよう！
親子でお正月あそび

うに風を感じたりしながら、
たくさんの工夫で上達して
いきます。戸外で元気に体
を動かすことも大切なこと
です。また、カルタやすご
ろくは、文字や数にふれ
たりしながら、自然と集
中力も養われます。こ
うした昔ながらのあそ
びには、子どもたち
にとってたくさんのメ
リットがあるのです。

ってこそ楽しめる
ものです。親から
子へ、祖父母から
孫へとあそびを
伝承することが
できます。人と
積極的にかかわ
るうとする態度
、友だちと協力
してあそぶこと
の楽しさを感じ
るとなるとな
ります。
ぜひ、ご家庭
でもお正月あ
そびを通して
、お子さん
との絆を深め
てみてください
ね。

子どものつばき

◎給食の野菜をみて

Hくん「あ！これアスパラだ！」

Rくん「ちがうよ、さやいんげんだよ。」

Hくん「えー？さやいんげん？」

1月の行事予定

●お誕生会

13日(木) 福田保育所

14日(金) 新地保育所

●新入所児健康診断

12日(水) 新地保育所

13日(木) 福田保育所

14日(金) 駒ヶ嶺保育所

●育児相談

20日(木) 各保育所



『生涯学習フェスティバル2011』開催 平成23年1月29日(土)・30日(日)

会場 農村環境改善センター・保健センター

新地町生涯学習フェスティバルは、町で実施している各種教室のほか、公民館・勤労青少年ホームを利用しているクラブ・団体、地域で活動している自主サークルなど、多くの団体が参加するイベントです。

みなさんが参加できる体験コーナーや無料試食会もありますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

<スケジュール>

1月29日(土)

- 9時00分～16時00分
- ・ほのぼの5・7・5川柳コンクール表彰式
- ・フェスティバル開会式
- ・学習発表
- ・各種教室・クラブ等の作品、写真展
- ・手作り作品等販売

1月30日(日)

- 9時00分～15時00分
- ・各種教室・クラブ等の作品、写真展
- ・手作り作品等販売
- ・無料試食会
- ・体験コーナー

●問い合わせ 生涯学習課 (☎2085)



ふるさと そうま NET21

相馬地方広域情報 No.51

相馬地方

イベントカレンダー

平成22年11月末現在

1 月	
1	鹿狼山元旦登山 (新地町 鹿狼山)
1	釣師の浜から初日の出を見る会 (新地町 釣師浜海水浴場)
14	どんと祭 (相馬市 長友グラウンド)
16	新地ふるさと物産市場 (ローソン新地店駐車場)
16	新春村民のつどい (飯館村公民館)
17	いちご狩り (~5月31日 相馬市 和田観光いちご園)
29	新地町生涯学習フェスティバル (~30日 新地町農村環境改善センター)
2 月	
6	南相馬市民俗芸能発表会 (南相馬市 ゆめはっと)

2 月	
11	わくわく大フリーマーケット (新地町 農村環境改善センター)
12	海の味まつり・かに (~13日 相馬市 水産物直売センター)
3 月	
13	海の味まつり・たら (相馬市 水産物直売センター)
27	石上子供みこし行列 (相馬市 石上鹿嶋神社)
4 月	
1	桜まつり (~20日 相馬市 馬陵公園)
16	春まつり (~19日 相馬市 中村神社)
16	相馬中村開府400年祭記念行事 (相馬市 馬陵公園など)

※ 詳しくは、各市町村役所(役場)等へお問い合わせください。

編集(平成22年1月) 相馬地方広域市町村圏組合 〒976-8601 相馬市中村字大手先13
TEL 35-0211 FAX 36-8932

暮らしの情報



平成23年度児童クラブ 利用児童の登録 申し込みを受付

児童クラブでは、平成23年度児童クラブ利用児童の新規・継続登録の申込みを次のとおり受け付けます。

対象児童 平成23年度新地町内の小学校1～3年生

定員 各児童クラブ30名

※申込人数が定員を超えた場合には、提出された世帯状況等を審査のうえ、後日可否についてお知らせします。

登録要件

- ・留守家庭で保護者等が就労により昼間家庭にいない児童
- ・祖父母が昼間家庭にいない児童
- ・が、介護保険の介護認定(1～5)及び障がい認定を受

け、その配偶者が介護・障がい認定者の日常介護に従事している場合。(この場合、介護保険被保険者証及び障がい者手帳のコピーを添付してください。)

※同じ条件で児童クラブ単位の申込みが多数の場合は、自宅までの距離を判定材料とします。

費用

おやつ代 月2,000円
 保険料 年2,000円

申込先 役場町民課、福田児童クラブ(勤労青少年ホーム内)、新地児童クラブ(児童館内)、駒ヶ嶺児童クラブ(駒ヶ嶺小学校特別教室棟内)にある申込み用紙に必要事項記入のうえ、お申し込みください。

申込期間

1月5日(水)～28日(金)まで(期日厳守)

その他 審査では、住民票登録上の世帯分離や同一敷地内の別棟居住の場合は、同一世帯と判定させていただきます。

問い合わせ

町民課 (☎②2116)

平成23・24年度 入札参加資格審査受付

町では、平成23・24年度の「入札参加資格審査申請」の受付を次のとおり行います。

受付期間 2月1日(火)～28日(月)

8時30分～17時(土・日・祝日を除く)

受付対象業種 建設工事請負業、測量等委託、物品販売、修繕等

※総括表等の書類は総務課、または、町ホームページからダウンロードしてください。

問い合わせ

総務課財政係 (☎②2111)

無料専門法律相談実施

福島県弁護士会相馬支部では、平成23年から月に一度、特定のテーマに特化した無料専門法律相談を実施します。

1月と2月については、次のとおりです。

日程及びテーマ

- ・1月17日(月) 『遺言』専門相談
- ・2月7日(月) 『交通事故』専門相談

時間 13時～17時

20歳になったら『国民年金』へ

20歳を迎えると、様々な権利とともに義務も生まれます。国民年金に加入することもそのひとつです。

国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての人が加入して、やがて誰にでも訪れる老後の所得保障だけでなく、障害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなで前もって保険料を出し合いお互いを支え合う制度です。

少子高齢化が進行し現役世代の負担が年々増加していますが、基礎年金の半分は国庫負担で賄われているため、現在20歳の方も納付した保険料以上の年金が受け取れます。さらに賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されますので、大変有利です。ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないこともありますので、「あのときに・・・」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りましょう。

また、厚生年金保険や共済組合の加入者(第2号被保険者)に扶養されている配偶者の方が20歳になったときは、第2号被保険者の勤務先を経由して加入の手続きを行うことになります。

なお、第2号被保険者が20歳になったときは、加入の手続きは必要ありません。

●問い合わせ 相馬年金事務所(☎③65173)・健康福祉課(☎②2932)

相談料

無料

予約等

電話予約(当日の飛び込み相談も可。ただし予約優先)

相談場所

福島県弁護士相馬支部 相馬法律相談センター

(相馬市中村字桜ヶ丘56)

1 TKウェルネス桜ヶ丘101号)

相談担当者

福島県弁護士相馬支部会員

問い合わせ

福島県弁護士会相馬支部

(☎③64789)

家庭での子育てを考える集い 里親まめ知識講座を開催

福島県浜児童相談所では、里親制度の説明や、里親さんの体験談が聞ける講座を開催します。

日時 2月8日(火)
13時30分～16時
場所 福島県いわき合同庁舎

3階会議室
対象 里親制度に興味、関心のある方

定員 20名(先着順)

参加費 無料

申込期限 1月31日(月)

※定員になり次第、締め切り
ます。

申込方法 電話、FAX、メールにてお申し込みください

い。※電話による受付時間は
平日8時30分～17時15分

●申し込み・問い合わせ

福島県浜児童相談所

☎0246-28-3346

FAX0246-28-2624

E-mail hama.jisou@pref.fukushima.jp

ひきこもり家族教室開催

相双保健福祉事務所では、ひきこもりで悩んでいる当事者及び家族の方等を対象に、次のとおり教室を開催します。

日時
・2月9日(水)
9時30分～11時30分
・3月9日(水)
9時30分～11時30分

※事前に申し込みが必要です。

場所 相双保健福祉事務所

担当者 臨床心理士、保健師

●予約・問い合わせ

相双保健福祉事務所

(☎26)1132)

善意ありがとうございます

◆一般寄付

平間義行さん(山元町)より

◆教育振興寄付金へ

新地ライオンズクラブより

／(株)ADEKA相馬工場(相馬市)より

／株式会社ADEKA労働組合(相馬市)より

◆社会福祉協議会へ

福島ヤクルト販売株式会社

より

◆新地ホームへ

寄付

山口守さん(藤崎)より

慰問・ボランティア

特養ボランティア30回62人
／新地町ボランティア1回2人
／新地高校3回29人
／JASU 1回6人
／漁協女性部1回2人
／ジュニアリーダー11回2人
／レマンの会2回6人
／仁科静夫さん2回
／おんがくクラブ6回

平成22年分確定申告について

相馬税務署では、平成22年分の確定申告について下記のとおりお知らせします。

◆確定申告期間

【所得税】・・・2月16日(水)～3月15日(火)

【贈与税】・・・2月1日(火)～3月15日(火)

【消費税・地方消費税(個人事業者)】
・・・1月4日(火)～3月15日(火)

◆確定申告書作成会場

会場 相馬市コミュニティセンター

※ 相馬税務署には申告書作成会場を設置いたしません。申告書作成のために来署された方につきましては、申告書作成会場へご案内させていただきますので、あらかじめご了承ください。

開設期間・時間 2月1日(火)～3月15日(火) 平日9時～16時

●問い合わせ 相馬税務署 (☎26)3111)

確定申告書は自宅から便利な『電子申告』で!!

平成22年分所得税の確定申告には「国税電子申告・納税システム(e-tax)」が便利です。

e-taxならこんないいことがあります!

- ①自動計算機能で申告書の内容がより確実
- ②最高5,000円の税額控除
- ③添付書類の提出省略可能
- ④還付金がスピーディー(申告から3週間程度)
- ⑤確定申告期間中はどこからでも24時間受付

詳しくはWebで

国税庁

検索

指定給水装置工事事業者一覧

No.	業者名	電話番号
1	桜井設備工業	☎624778
2	(有)佐藤水道設備	☎623492
3	(有)サンリット工業	☎622346
4	(株)トーヨー建設	☎367030
5	おがわ衛生設備	☎625314
6	(株)千田建設	☎623617
7	新和工業(株)	☎624581

※修理を依頼するときは、給水装置工事事業者に直接依頼してください。





図書館へ行こう

=新着本のご案内=

1月の読み聞かせ会

日時：1月15日(土) 11時～

テーマ：「むかし むかし」

図書館ボランティア「スイミー」の皆さんによる、絵本の読み聞かせや工作などを行います。内容は、幼児から小学校低・中学年向きです。

●一般書

『白銀ジャック』

東野 圭吾



「我々は、いつ、どこからでも爆破できる」。年の瀬のスキー場に脅迫状が届いた。警察に通報できない状況を嘲笑うかのように繰り返される、山中でのトリッキーな身代金奪取。すべての鍵は、一年前に血に染まった禁断のゲレンデに…。

『謎解きはディナーのあとで』

東川 篤哉



「失礼ながら、お嬢様の目は節穴でございますか？」令嬢刑事と毒舌執事が難事件に挑戦！ユーモアたっぷりの本格ミステリ6話を収録。

『錨を上げよ (上・下)』

百田 尚樹

『長い廊下がある家』

有栖川 有栖

『折れた竜骨』

米澤 穂信

『どんぐり姉妹』

よしもと ばなな

『最期のときを見つめて』 ターシャ テューダー

『高校生レストラン、行列の理由。』 村林 新吾

『村主章枝のフィギュアスケート

ここがわかればもっとオモシロイ!』 村主 章枝

『藤原さんちの毎日ごはん』

みきママ

『カロリーひかえめ夜9時ごはん』 植木 もも子

ほか

●CD

『いきものばかり ～メンバーズBESTセレクション～』 (2枚組) いきものがかり

『THE BEST BANG!!』 (4枚組)

福山 雅治

『演歌名曲コレクション13 ～虹色のバイヨン～』

氷川 きよし

ほか

《季節の行事展「成人の日」》

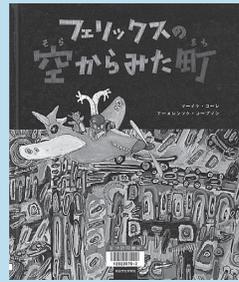
1月5日(水)～27日(木)

成人の日におすすめする図書の展示・貸出を行います。

●児童書

『フェリックスの空からみた町』

マーイケ コーレ



空から町をながめるとどんな風にみえるかな？飛行機に乗ったフェリックスと一緒に、いろいろな人や建物を探してみよう。文字のページをめくると、探しているものを地上からの目線で見た絵があるよ。

『いちばん!の図鑑』

今泉 忠明ほか/監修



走るスピード、木の大きさ、山の高さ、竜巻の多さなど、動物、植物、地球、気象、乗り物などにまつわる様々な「いちばん!」と、そのわけやひみつを紹介した図鑑。迫力ある写真、ためになるくわしい情報などもついています。

『齋藤孝のイッキによめる!日本の偉人伝』

齋藤 孝

『世界にはばたく日本力 日本の医療』

こどもくらぶ/編

『子どもにおくる私の心にのこる話』

鈴木 喜代春ほか/編

『まるまるまるのほん』 エルヴェ テュレ

『しもばしら』 野坂 勇作

『オオカミゲーのなつかしいひみつ』

きむら ゆういち/作 みやにし たつや/絵

『アンパンマンともりのたから』 やなせ たかし

ほか

図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1月	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31
2月	1	2	3	4	5	

●は休館日 ●は館内整理日



町図書館

☎ 5031

農地の賃借料情報について

平成22年1月から12月に締結された農地の賃貸借における賃借料水準（10アール当たり）を左記のとおり公表します。なお、賃借料については、双方協議のうえ設定してください。

●問い合わせ

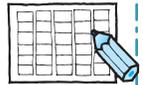
新地町農業委員会（☎622195）

	農地区分	平均額	最高額	最低額	データ数
新地町全域	田	9,600円	17,000円	7,300円	124
	畑	6,400円	8,000円	6,000円	5

- ①賃借料に係る平均額等のデータの中には、特別の事情で行われたものについては、調査の対象から外しています。
- ②金額はすべて100円未満は四捨五入しています。
- ③物納については、新地町では一般的に取引されている価格を基準に換算しています。

町の文芸

◆新地川柳教室



ほれ込んだ器はいつもそばにいる
伊 子 子

万歩計今日の元気のバロメーター
あ つ 子

跳ねる馬死ぬまで跳ねる恋女
恵 光

今朝もまた元気に挨拶駒小つ子
利 夫

寒い夜袖子が遊びにやって来る
真 風

執念の一打に運が味方する
光 香

おおらかな人生歩むおんな坂
イ ト 子

若いと言われ出かける夫の背が歌う
お せ い

第九からまっすぐ走る初詣
一 路

手応えを握って急ぐ日暮れ道
講 師 渡 辺 満 洲

人の動き

（住民基本台帳調べ）

12月1日現在（ ）は前月比
●人口／8,451人（－7人）
男／4,141人（－1人）
女／4,274人（－6人）
●世帯数／2,652世帯（－2世帯）

今月の納税

●町県民税 第4期分
●国民健康保険税 第7期分

お誕生おめでとう

（平成22年11月21日～平成22年12月20日届出）

（子供）		（親）		（地区）	
瑠 美	横山 真彦・奈々	今 泉			
美 優	小野 典重・みゆき	釣 師			
悠 光	加藤 伸也・陽子	今 神			
結 真	只野 秀明・奈保子	渋 民			

ご冥福をお祈りします

（平成22年11月21日～平成22年12月20日届出）

（死亡者）	（年齢）	（地区）	（死亡者）	（年齢）	（地区）
吉田ミツイ	87歳	原相善	目黒サタノ	90歳	下真弓
佐藤 敏子	77歳	今 泉	佐藤よし子	91歳	中 里
菊地 哲子	62歳	岡	管野マサイ	84歳	作 田
千尋 三男	86歳	中 島	村井 裕文	45歳	小 川
飯土井小翁	59歳	新 町	荒 慶春	86歳	鉄炮町
佐藤 政	81歳	小 川	森 ワキ	87歳	菅 谷
鈴木 寅吉	96歳	杉 目			

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。



地域福祉の担い手 民生児童委員

あなたの身近な相談相手 ～民生委員・児童委員はいつもそばにいます～

民生児童委員の辞令交付式が平成22年12月2日に行われ、26名に辞令が交付されました。

民生児童委員とは、地域住民の相談に応じ、必要な支援を行う、地域福祉推進の中心的な担い手です。

主な職務内容は、社会調査、相談、情報提供、連絡通報、調整、生活支援、意見具申などです。

また、民生委員・児童委員には、担当地区をもつ民生委員・児童委員と、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員がいます。

ご相談等がございましたら、地域の民生児童委員にお気軽にご連絡ください。

各地区を担当する民生児童委員は次の方々です。

- ◆第1行政区 (敬称略)
佐藤 良子 (沢口・鉄炮町・大山田)
- ◆第2行政区
森 タカ子 (明地・中里)
- ◆第3行政区
佐々木敏則 (木崎)
谷 隆 (埴浜)
櫻井 英子 (作田)
- ◆第4行政区
加藤 孝夫 (下真弓・上真弓)
- ◆第5行政区
黒髭 文男 (岡)
齋藤 民子 (岡)
- ◆第6行政区
早川 忠美 (杉目)
- ◆第7行政区
齋藤ゆき子 (新地町)
- ◆第8行政区
清野 正子 (中島)
- ◆第9行政区
松谷 昭男 (小川)
渡辺アイ子 (小川)
- ◆第10行政区
寺島 廣見 (釣師)
荒 和子 (釣師)
- ◆第11行政区
寺島 吉一 (大戸浜)
- ◆第12行政区
佐藤 孝 (今泉)
- ◆第13行政区
菅野 喜一 (菅谷)
佐藤 清子 (高田)
- ◆第14行政区
阿部 澄子 (城内・駒ヶ嶺町)
菅野 幸子 (上ノ町・新町)
- ◆第15行政区
吉田 栄子 (洪民・藤崎)
荒 友子 (今神)
- ◆主任児童委員
佐藤 和枝 (富倉・原相善)
水戸 修子
八卷 円

